９・１を忘れない！
～平和と共生を考える札幌集会～

日時　2025 年 9 月 1 日（月）14:00 ～ 16:30
（13:30 開場）

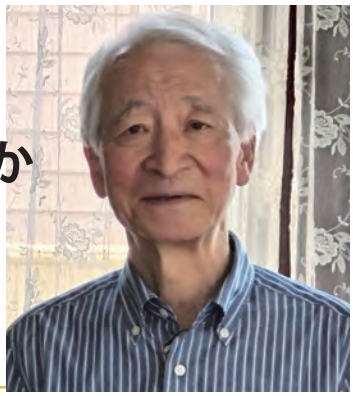
場所　札幌教区カトリックセンター 1F　会議室
中央区北 1 東 6-10　＊地下鉄東西線「バスセンター前」下車 10番出口から徒歩5分

参加無料・申し込み不要　＊資料・茶菓代 300 円

プログラム

14:00 ～ 14:15　開会あいさつ・主旨説明　小野 有五（カトリック札幌教区エキュメニカル委員会）

14:15 ～ 15:30　講演　古賀 清敬 さん
日本キリスト教会教師、元北星学園大学教員、
北海道朝鮮学校を支える会共同代表



なぜ、関東大震災朝鮮人虐殺は引き起こされたのか
～ 過去をふまえて、命を守るために ～

15:30～16:30　質疑応答・参加者同士の分かち合い

古賀さんからのメッセージ　**朝鮮人虐殺は、けっして大地震の混乱ゆえでなく、偶発的に起こったのでもないことが、今日明らかにされています。では、なぜなのか。**
「植民地戦争」という視点で日清戦争前後、日露戦争、朝鮮植民地化、３.１独立運動という、すこし長い脈絡で確かめていきましょう。「植民地主義」と指摘するだけでは何も解決しません。その実態を少しでも知り、それが今のわたしたちに至るまでどのような影響を与えているのか、を実感する手がかりになればと思います。

開催の主旨ーーー 今から 102 年前の 1923 年9月、関東大震災で、多くの韓国・朝鮮人、中国人が、根拠のないデマや流言によって、日本人によって虐殺されました。虐殺は、言葉が話せない日本人の障がい者にも及び、また大杉栄、伊藤野枝と、その甥の６歳の橘宗一くんも憲兵隊に拉致され、拷問を受け虐殺されました。
９・1を忘れない！　というのは、大震災の教訓以上に、 ごく普通の日本人が引き起こした、 このような虐殺事件を記憶し続けるということです。犠牲者を悼むだけでなく、二度とこのような悲劇を起さないために、どうすべきか、いま、何をすべきか、ともに考え、平和と共生をもとめる心を、宗派、教派を超えて分かち合いたいと願っています。

加藤直樹 著
『九月、東京の路上で（ころから）』表紙の絵

主催　カトリック札幌教区エキュメニカル委員会　＊問い合わせ先　yugo55glacier@gmail.com
協賛　札幌キリスト教連合会　在日韓国・朝鮮人との共生をめざす委員会